

令和4年11月24日

各都道府県教育委員会等文化行政主幹課長 殿

独立行政法人 国立美術館
国立映画アーカイブ館長
岡 島 尚 志

(印影印刷)

令和5年度優秀映画鑑賞推進事業に係る実施細目文書の送付について（依頼）

令和5年度優秀映画鑑賞推進事業の実施については、令和4年11月24日付け4文参芸第79号及び令和4年11月21日付け国映ア事第362号にて依頼及び照会をしておりますが、下記添付資料にも留意されるよう、所掌の各公立文化施設等担当者にご連絡くださいますようお願いいたします。

記

[本件文書の添付資料]

- ① 添付資料1 優秀映画鑑賞推進事業実施細目
- ② 添付資料2 令和5年度優秀映画鑑賞推進事業進行表
- ③ 添付資料3 令和5年度プログラムリスト
※プログラム数及び作品構成は令和4年度プログラムと異なっています。
- ④ 添付資料4 フィルムの映写と取扱いに関する主催者へのお願い
フィルム巡回先リスト<映写技師用> (見本)
フィルム取扱い注意事項<映写技師・記入用> (見本)
上映報告書及び事故報告書 (見本)
- ⑤ 添付資料5 全国興行生活衛生同業組合連合会会員名簿
- ⑥ 添付資料6 広報媒体等への主催者名・特別協力名・国立映画アーカイブロゴの記載について【留意事項】
- ⑦ 様式1 優秀映画鑑賞推進事業実行委員会規約 (見本)
- ⑧ 様式2 優秀映画鑑賞推進事業実施確約書
優秀映画鑑賞推進事業実施確約書(デジタル素材上映用)
(別紙) 優秀映画鑑賞推進事業遵守事項
- ⑨ 様式3 映画フィルム転送通知書
- ⑩ 様式4 令和5年度優秀映画鑑賞推進事業実施報告書
(別紙) 映画をご覧になられた方へのアンケート

P2 3. 【重要項目】上映回数について を必ずご覧ください。

優秀映画鑑賞推進事業実施細目

◎ 各都道府県教育委員会等の担当部署の方へ

1. 都道府県単位の優秀映画鑑賞推進事業実行委員会（以下「都道府県実行委員会」という。）について

本事業の円滑な実施のため、主催者と興行組合との間の連絡調整が必要になることがあります。その場合は、都道府県実行委員会の設置をお願いします。

都道府県実行委員会を設置する場合、会場となる公立文化施設等（以下「実施会場」という。）の主催者の代表者、都道府県単位で構成される興行組合の代表者、学識経験者及び教育委員会の代表者等によって構成してください。

2. 各都道府県教育委員会等または都道府県実行委員会の役割

- ① 国立映画アーカイブが提示するプログラムリストにより実施会場の要望（上映日程を含む）を募り、これを取りまとめてください。取りまとめた回答文書は、指定の期日までに、本事業委託業者（令和4年度中は株式会社オーエムシー）まで送付してください。なお、実施会場及び日程の最終的な決定は、国立映画アーカイブで行います。
- ② 各実施会場間の連絡調整をお願いします。特に近接した実施会場間における希望プログラムの重複、希望開催日時の調整に留意ください。
- ③ 事前通知、決定通知等は、受領後速やかに実施会場への周知をお願いします。
※詳細については「令和5年度度優秀映画鑑賞推進事業進行表」ご参照ください。
- ④ 必要に応じて35mm映写機レンタルについて斡旋を行うようお願いします。
- ⑤ 主催者と興行組合との間の連絡調整をお願いします。

◎ 実施会場（主催者）の方へ

1. 実行委員会の設置について

本事業の実施に当たっては、「優秀映画鑑賞推進事業実施要項」第5条第3項の規定により、各実施会場単位で、実行委員会を設置することが義務づけられています。実行委員会は、会場となる公立文化施設等の長、及び当該地域の主催者、映画興行関係者、学識経験者、教育委員会の代表者等によって構成してください。その他、実行委員会の設置に際しては、様式1「優秀映画鑑賞推進事業実行委員会規約」に準じてください。

実行委員会規約及び実行委員名簿は、3. に記載の「確約書」とあわせて令和5年7月末日までに提出してください。

2. 観覧料について

「優秀映画鑑賞推進事業実施要項」第8条に「観覧料の額は、成人1人500円の範囲内で会場施設等の主催者がこれを定める。」と規定されています。各実施会場で必ず観覧料を徴収してください。なお、ここで言う「成人1人500円」とは、1作品1回上映に対する成人の観覧料です。

3. 【重要項目】上映回数について

こちらの項目は本年度新しく入った内容になります。必ずご確認ください。

各作品の上映回数の上限は以下のとおりです。

- ※ Gプログラム『どついたるねん』の上映回数は、1会場1回のみ。
- ※ その他のフィルム作品の上映回数は、1会場1作品につき2回まで。
- ※ BプログラムとLプログラムにはフィルム素材とデジタル素材（DCP）があります。なお、デジタル素材（DCP）での上映回数は、1会場1作品につき1回のみ。

4. 確約書の提出について

各実施会場は、本事業が採択された場合は、令和5年7月末日までに、様式2「優秀映画鑑賞推進事業実施確約書」を上記「実行委員会規約・名簿」と併せて本事業委託業者へ送付してください。

5. 映画フィルム転送通知及び映画フィルムの運送について

各実施会場は、本事業に係る上映が終了したときは、すみやかに様式3「映画フィルム転送通知書」を本事業委託業者へ送付してください。フィルムの破損があった場合は、必ず転送通知書に記入するようにしてください。

- ※ 本事業に係る映画フィルム及びデジタル素材（DCP）の運送については、国立映画アーカイブと運送業者（令和4年度 ヤマト運輸株式会社）との間で契約し、運送費は国立映画アーカイブが負担します。

また、映画フィルムの運送については、運送業者の指示に基づき、各実施会場の最寄りの運送業者の営業所（運送業者が委託契約をしている業者がある地域にあつては、当該委託業者。）から集荷・配送され、配送伝票についても、原則として当該営業所担当者が持参します。営業所担当者の錯誤等、何らかの事由により配送伝票が持参されない場合等は、契約の趣旨（国立映画アーカイブが運送費をすべて負担すること）を担当者に周知し、誤って運送費を支払う・着払いで発送する等がないよう、各実施会場においても所属職員に周知徹底をお願いします。（ただし、運送業者が委託する業者が集荷・配送する地域においては、その取り扱いが若干異なる場合があるので、本事業委託業者との連絡を密にして、遺漏のないようお願いします。）

6. 映画フィルムの取扱いについて

様式2「優秀映画鑑賞推進事業実施確約書」の別紙「優秀映画鑑賞推進事業遵守事項」第8に規定する「フィルム取扱い注意事項」等については、添付資料4「フィルムの映写と取扱いに関する主催者へのお願い」のうち、文書②「フィルム取扱い注意事項」を除き、すべて運送される映画フィルムの各作品の1缶（巻）目に封入されているので、実際に映画フィルムを取扱う映写技師等との間で確認してください。

文書②については、事前に主催者から映写技師に記入していただくよう、お早めにご依頼ください。上映後は、映写技師に文書①「フィルム巡回先リスト」及び文書③「上映報告書」を記入してもらうよう周知してください。

また、フィルムの破損等の映写事故については、すみやかに「主催者へのお願い」及び文書④「事故報告書」に図示している経路に従って、連絡してください。（フィルムの状態については、国立映画アーカイブで作成する「令和5年度優秀映画鑑賞推進事業 プリント報告書」をフィルム缶に同封します。）文書①～④はすべて、フィルム缶に再封入して、返送をお願いします。

7. 『鑑賞の手引』等の発送について

本事業の上映作品を解説したパンフレット『鑑賞の手引』は、希望部数に応じて各実施会場に直接送付します（上限500部）。この『鑑賞の手引』は、令和5年6月中旬以降に、各実施会場に発送する予定です。また、フィルムの搬送表、作品別梱包数等一覧表は、6月中にメールにて各会場に送付する予定です。

8. 広報印刷物の作成について

- ① 各主催者が作成する**広報印刷物**（チラシ等）には**下記を明記**することとし、完成次第、**本事業委託業者へ5部を送付**してください。

主 催： 各主催団体／国立映画アーカイブ

特別協力： 文化庁／一般社団法人日本映画製作者連盟／全国興行生活衛生同業組合連合会／
東映株式会社／東宝株式会社

- ② ①の国立映画アーカイブの名の広報媒体等への記載にあたっては、添付資料6「広報媒体等への主催者名・特別協力名・国立映画アーカイブロゴの記載について【留意事項】」に基づき、ロゴもあわせて記載をお願いいたします。
- ③ 広報印刷物に使用する各作品のスチル写真は、様式2「優秀映画鑑賞推進事業実施確約書」の提出後、本事業委託業者より各実施会場にデータで提供いたします。なお、『鑑賞の手引』に掲載されている当該作品の写真を、原稿として使用することも可能です。

9. 本事業の実施報告について

- ① 本事業に係る上映がすべて終了したときは、終了後3週間以内に様式4「令和5年度優秀映画鑑賞推進事業実施報告書」を本事業委託業者に送付してください。「令和5年度優秀映画鑑賞推進事業実施報告書」の書式は、6月中に本事業委託業者より都道府県担当者へ送付（データ送信）いたします。
- ② 本事業の今後の参考に資するため、各実施会場でアンケート（様式4別紙「映画をご覧になられた方へのアンケート」）を取ってください。なお、様式4の報告書にはこのアンケートの集計表のみを添付し、主要意見については同報告書4「意見・感想等」欄または別紙に記載してください。

10. 本事業の外部委託について

本事業は、フィルム提供に係る業務（購入、検品、補修、保存庫よりの搬出入及び著作権者等からの権利クリア）以外は、外部業者に業務委託をしています。

国立映画アーカイブからの各種文書は、本事業委託業者より送付します。また、上記の様式2「優秀映画鑑賞推進事業実施確約書」、様式3「映画フィルム転送通知書」、様式4「令和5年度優秀映画鑑賞推進事業実施報告書」及び添付資料は、すべて本事業委託業者へ送付してください。なお、本事業の運営に係る事務連絡も、すべて本事業委託業者を窓口として行います。

令和5年度優秀映画鑑賞推進事業進行表 実施希望照会～事業完了まで

委託業者=株式会社オーエムシー (令和5年度以降は未定)		国立映画アーカイブ 委託業者	都道府県担当者 各都道府県担当課の本件事業担当者	主催団体(会場)担当者 公立文化施設等事業実施会場担当者
令和4年 11月～12月		照会文書 送付	事業詳細資料を受領 (照会文書、実施細目等) 公立文化施設・ 市町村教育委員会等へ連絡	事業の実施について検討 事業の実施について 委員会で検討
1月	回答書提出〆切 1月26日 木曜日【必着】	回答書 受領	回答書を(株)オーエムシーへ提出 公立文化施設・市町村教育委員会 から提出された回答を取りまとめ、 プログラム及び日程を調整後、委託 業者へ提出	回答書を都道府県へ提出 ・プログラム及び日程は必ず第3希望まで記入 する。 ・会場図面を添える。
令和5年 1月～2月		取りまとめ		
3月		事前通知送付	事前通知を受領 公立文化施設・ 市町村教育委員会等へ連絡	事前通知を受領
事前通知を受けて微調整				
3月～4月		決定通知送付	決定通知を受領 公立文化施設・ 市町村教育委員会等へ連絡	決定通知を受領
6月		フィルム搬送表等送付 ※主催団体(会場) へ、メールにて送付		フィルム搬送表等を受領
		鑑賞の手引送付	鑑賞の手引1冊を参考資料 として受領	鑑賞の手引を受領 ◎鑑賞の手引は宣伝素材として使用可
7月	実施確約書等 〆切 提出は委託業者へ	実施確約書、 委員会規約受領		委員会規約(様式1)、実施確約書 (様式2)等を、委託業者へ提出 ◎広報用写真データは、確約書提出後受領可 広報印刷物(チラシ)の作成等、 事業実施準備
事業の実施 令和5年7月20日(木)～令和6年3月3日(日)				
実施後	実施報告書等 〆切 提出は委託業者へ	映画フィルム転送通知書、 実施報告書等受領		映画フィルム転送通知書(様式3)を、 実施後すぐ、委託業者へ提出 実施報告書(様式4)を、チラシ5部とと もに、実施後3週間以内に、委託業者へ 提出

(様式1) 優秀映画鑑賞推進事業実施委員会規約、名簿

(様式2) 優秀映画鑑賞推進事業実施確約書/ (別紙) 遵守事項

(様式3) 映画フィルム転送通知書

(様式4) 令和5年度優秀映画鑑賞推進事業実施報告書

令和5年度プログラムリスト（全22番組、88作品）

添付資料 3

カッコ内のアルファベットは画郭情報。SDはスタンダード、Vはアメリカン・ビスタ、EVはヨーロッパ・ビスタ、CSはシネマスコープ。

横の記号はサウンド情報。★はモノラル（濃淡型白黒）、☆はモノラル（濃淡型カラー）、＊はドルビー（ステレオ）、＊＊はドルビー（SR）、＊＊＊はドルビーデジタル（SR-D）。

Aプログラム

日本映画を代表する溝口健二監督と近年海外での評価が高まっている清水宏の2作品を紹介。

浪華悲歌（1936年・溝口健二・第一映画・72分・SD★）出演＝山田五十鈴、梅村蓉子、進藤英太郎

西鶴一代女（1952年・溝口健二・新東宝＝児井プロ・136分・SD）出演＝田中絹代、三船敏郎、宇野重吉

風の中の子供（1937年・清水宏・松竹・86分・SD）出演＝河村黎吉、吉川満子、葉山正雄、爆弾小僧

蜂の巣の子供たち（1948年・清水宏・蜂の巣映画部・84分・SD）出演＝島村俊作、夏木雅子、御庄正一

Bプログラム デジタル素材（DCP）あり

人間の善と悪、大胆な構成と躍動感あふれる演出で描き続け、世界中の映画人と観客を魅了した黒澤明監督の傑作を紹介。

生きる（1952年・黒澤明・東宝・143分・SD）出演＝志村喬、小田切みき、田中春男

隠し砦の三悪人（1958年・黒澤明・東宝・138分・CS）出演＝三船敏郎、上原美佐、藤田進

用心棒（1961年・黒澤明・東宝＝黒沢プロ・110分・CS）出演＝三船敏郎、仲代達矢、山田五十鈴、司葉子

天国と地獄（1963年・黒澤明・東宝＝黒沢プロ・143分・CS）出演＝三船敏郎、仲代達矢、香川京子、山崎努

Cプログラム

男女の心のあやを冷徹な視線で描写した成瀬巳喜男監督と、叙情的な作風で多くの観客を魅了した木下恵介監督の作品を紹介。

めし（1951年・成瀬巳喜男・東宝・97分・SD）出演＝上原謙、原節子、島崎雪子

流れる（1956年・成瀬巳喜男・東宝・116分・SD）出演＝田中絹代、山田五十鈴、高峰秀子、杉村春子

二十四の瞳（1954年・木下恵介・松竹・155分・SD）出演＝高峰秀子、月丘夢路、田村高広

野菊の如き君なりき（1955年・木下恵介・松竹・92分・SD）出演＝有田紀子、田中晋二、田村高広

Dプログラム

近代日本の光と影を情感ゆたかに描いた今井正と、才気あふれる作風で日本映画の刷新を試み続けた市川崑の代表作を紹介。

にごりえ（1953年・今井正・文学座ほか・130分・SD）出演＝丹阿弥谷津子、久我美子、淡島千景

純愛物語（1957年・今井正・東映・130分・CS）出演＝江原真二郎、中原ひとみ、岡田英次

東京オリンピック（1965年・市川崑・東京オリンピック映画協会・169分・CS）記録映画

細雪（1983年・市川崑・東宝・140分・V）出演＝佐久間良子、吉永小百合、古手川祐子、伊丹十三

Eプログラム

壮絶な戦場や一変した日常など、戦時下で危機的状況を生きる人々を克明に描いた作品を紹介。

わが青春に悔なし（1946年・黒澤明・東宝・110分・SD）出演＝原節子、藤田進、大河内伝次郎、杉村春子

暁の脱走（1950年・谷口千吉・新東宝・110分・SD）出演＝池部良、山口淑子、小沢栄

独立愚連隊（1959年・岡本喜八・東宝・108分・CS）出演＝佐藤允、雪村いづみ、中丸忠雄

日本のいちばん長い日（1967年・岡本喜八・東宝・157分・CS）出演＝三船敏郎、笠智衆、松本幸四郎

Fプログラム

1960年前後に登場した、戦後の若き映画監督たちによる革新的な作品群を紹介。

豚と軍艦（1961年・今村昌平・日活・108分・CS）出演＝長門裕之、吉村実子、南田洋子

情炎（1967年・吉田喜重・現代映画社・97分・CS）出演＝岡田茉莉子、木村功、高橋悦史、しめぎしがこ

少年（1969年・大島渚・創造社＝ATG・97分・CS）出演＝渡辺文雄、小山明子、阿部哲夫、木下剛志

心中天網島（1969年・篠田正浩・表現社＝ATG・103分・SD）出演＝中村吉右衛門、岩下志麻、滝田裕介

Gプログラム

現在も多方面で活躍し人気を集める俳優たちが、1980年代から1990年代に出演した名作を紹介。

Wの悲劇（1984年・澤井信一郎・角川春樹事務所・109分・V）出演＝薬師丸ひろ子、世良公則、三田村邦彦

どついたるねん（1989年・阪本順治・荒戸源次郎事務所・110分・EV）出演＝赤井英和、相楽晴子、原田芳雄

つぐみ（1990年・市川準・松竹富士ほか・106分・V）出演＝牧瀬里穂、中嶋朋子、真田広之

ニンゲン合格（1999年・黒沢清・大映・109分・V**）出演＝西島秀俊、役所広司、菅田俊

Hプログラム

1990年代以降に登場した自主映画出身の監督たちが軽快に描く、“熱中する人々”への人生讃歌。

Shall we ダンス?（1996年・周防正行・大映＝日本テレビ放送網＝博報堂他・136分・V**）出演＝役所広司、草刈民代、竹中直人

がんばっていきまっしょい（1998年・磯村一路・フジテレビ＝ポニーキャニオン＝アルタミラピクチャーズ・119分・V**）出演＝田中麗奈、清水真実、中嶋朋子

キツツキと雨（2011年・沖田修一・「キツツキと雨」製作委員会・128分・V***）出演＝役所広司、小栗旬、高良健吾、山崎努

死に花（2004年・犬童一心・「死に花」製作委員会・120分・V***）出演＝山崎努、宇津井健、青島幸男、谷啓、松原智恵子

Iプログラム

1990年代以降に日本映画の新たな顔として活躍を続ける監督たちが描く、様々な家族のドラマ。

愛を乞うひと（1998年・平山秀幸・東宝＝角川書店＝サンダンス・カンパニー・135分・V**）出演＝原田美枝子、中井貴一、國村隼、うじきつよし

GO（2001年・行定勲・「GO」製作委員会・123分・V**）出演＝窪塚洋介、柴咲コウ、大竹しのぶ、山崎努

ゆれる（2006年・西川美和・「ゆれる」製作委員会・119分・V**）出演＝オダギリジョー、香川照之、伊武雅刀、真木よう子

幻の光（1995年・是枝裕和・テレビマンユニオン・109分・V）出演＝江角マキコ、浅野忠信、内藤剛志、木内みどり

Jプログラム

岸恵子、吉永小百合、佐久間良子、岩下志麻——大女優の若き姿を、文芸映画を通して紹介。

雪国（1957年・豊田四郎・東宝・133分・SD）出演＝岸恵子、池部良、八千草薫、久保明

伊豆の踊子（1963年・西河克己・日活・87分・CS）出演＝吉永小百合、高橋英樹、南田洋子、浪花千栄子

五番町夕霧楼（1963年・田坂具隆・東映・137分・CS）出演＝佐久間良子、河原崎長一郎、木暮実千代

五瓣の椿（1964年・野村芳太郎・松竹・163分・CS）出演＝岩下志麻、田村高広、伊藤雄之助

Kプログラム

森雅之、石原裕次郎、市川雷蔵、高倉健——個性豊かな男優たちの魅力があふれる作品を紹介。

浮雲（1955年・成瀬巳喜男・東宝・123分・SD）出演＝森雅之、高峰秀子、岡田茉莉子

嵐を呼ぶ男（1957年・井上梅次・日活・100分・CS）出演＝石原裕次郎、北原三枝、芦川いづみ、金子信雄

眠狂四郎殺法帖（1963年・田中徳三・大映・81分・CS☆）出演＝市川雷蔵、中村玉緒、若山富三郎

網走番外地（1965年・石井輝男・東映・91分・CS）出演＝高倉健、丹波哲郎、田中邦衛、嵐寛寿郎

Lプログラム デジタル素材（DCP）あり

アクションに人間ドラマに観客を惹きつけて止まない時代劇。大スター演じるヒーローの行く末に手に汗握る名作を紹介。

血槍富士（1955年・内田吐夢・東映・94分・SD）出演＝片岡千恵蔵、月形龍之介、喜多川千鶴
旗本退屈男（1958年・松田定次・東映・108分・CS）出演＝市川右太衛門、桜町弘子、片岡千恵蔵
反逆児（1961年・伊藤大輔・東映・110分・CS）出演＝中村錦之助、桜町弘子、月形龍之介
沓掛時次郎 遊俠一匹（1966年・加藤泰・東映・90分・CS）出演＝中村錦之助、池内淳子、渥美清

Mプログラム

終戦直後の混乱のなかで、古き時代への悔恨と新しい時代に向けた希望を映し出した力作を紹介。

戦争と平和（1947年・山本薩夫、亀井文夫・東宝・100分・SD）出演＝池部良、岸旗江、伊豆肇
安城家の舞踏会（1947年・吉村公三郎・松竹・89分・SD★）出演＝原節子、滝沢修、森雅之
青い山脈／続 青い山脈（1949年・今井正・藤本プロ＝東宝・計172分・SD）出演＝原節子、杉葉子、池部良
帰郷（1950年・大庭秀雄・松竹・104分・SD★）出演＝佐分利信、木暮実千代、津島恵子

Nプログラム

戦後の混乱を乗り越え、復興の時を迎えた日本に生きる様々な家族や夫婦の姿を描いた作品を紹介。

煙突の見える場所（1953年・五所平之助・新東宝＝スタジオ・エイト・プロ・108分・SD）出演＝田中絹代、上原謙、高峰秀子、芥川比呂志
この広い空のどこかに（1954年・小林正樹・松竹・109分・SD）出演＝佐田啓二、久我美子、高峰秀子
名もなく貧しく美しく（1961年・松山善三・東京映画・129分・CS）出演＝高峰秀子、小林桂樹、島津雅彦
裸の島（1960年・新藤兼人・近代映画協会・96分・CS）出演＝乙羽信子、殿山泰司、田中伸二

Oプログラム

阪妻、長谷川一夫、勝新、千恵蔵、月形、右太衛門——定番時代劇の醍醐味を存分に楽しめる、時代劇スター出演の有名作を紹介。

大江戸五人男（1951年・伊藤大輔・松竹・132分・SD）出演＝阪東妻三郎、市川右太衛門、山田五十鈴
銭形平次捕物控 からくり屋敷（1953年・森一生・大映・86分・SD）出演＝長谷川一夫、アチャコ、三浦光子、入江たか子
不知火検校（1960年・森一生・大映・91分・CS★）出演＝勝新太郎、中村玉緒、近藤美恵子
赤穂浪士（1961年・松田定次・東映・151分・CS）出演＝片岡千恵蔵、大川橋蔵、月形龍之介、市川右太衛門

Pプログラム

風俗喜劇に家族喜劇、個性的な監督たちとユーモアあふれる俳優たち——さまざまな笑いを楽しめる一風変わった喜劇を紹介。

本日休診（1952年・渋谷実・松竹・97分・SD★）出演＝柳永二郎、淡島千景、三国連太郎
貸間あり（1959年・川島雄三・宝塚映画・112分・CS）出演＝フランキー堺、淡島千景、乙羽信子
喜劇 女は男のふるさとヨ（1971年・森崎東・松竹・90分・CS）出演＝森繁久弥、中村メイコ、倍賞美津子
毎日が夏休み（1994年・金子修介・パイオニアLDC＝サンダンス・カンパニー・94分・V）出演＝佐野史郎、佐伯日菜子、風吹ジュン

Qプログラム

日本映画の量産時代に登場した監督たちが、喜劇映画のなかで新たな挑戦を試みた秀作を紹介。

おかしな奴（1963年・沢島忠・東映・110分・CS）出演＝渥美清、三田佳子、南田洋子
喜劇 急行列車（1967年・瀬川昌治・東映・90分・CS）出演＝渥美清、佐久間良子、小沢昭一
吹けば飛ぶよな男だが（1968年・山田洋次・松竹・91分・CS）出演＝なべおさみ、緑魔子、犬塚弘
あゝ軍歌（1970年・前田陽一・松竹・89分・CS）出演＝フランキー堺、財津一郎、倍賞千恵子

Rプログラム (お子様連れにも好評のプログラム)

軽やかなリズムと華やかな色彩にのせて、歌と笑いと夢にあふれた音楽・歌謡映画の決定版を紹介。

エノケンの頑張り戦術 (1939年・中川信夫・東宝・74分・SD) 出演＝榎本健一、如月寛多、柳田貞一

大当り三色娘 (1957年・杉江敏男・東宝・94分・CS) 出演＝美空ひばり、江利チエミ、雪村いづみ

ニッポン無責任時代 (1962年・古澤憲吾・東宝・86分・CS) 出演＝植木等、ハナ肇、谷啓

君も出世ができる (1964年・須川栄三・東宝・100分・CS) 出演＝フランキー堺、高島忠夫、雪村いづみ

Sプログラム

純情と犇猛さが入り混じった青春の一瞬を、気鋭の監督たちが鮮やかに捉えた青春映画、恋愛映画の秀作を紹介。

八月の濡れた砂 (1971年・藤田敏八・日活・91分・CS) 出演＝村野武範、広瀬昌助、テレサ野田

忍ぶ川 (1972年・熊井啓・俳優座映画放送・120分・SD) 出演＝加藤剛、栗原小巻、永田靖、信欽三

伊豆の踊子 (1974年・西河克己・東宝＝ホリプロ・82分・CS) 出演＝山口百恵、三浦友和、中山仁

櫻の園 (1990年・中原俊・ニュー・センチュリー・プロデューサーズ＝サントリー・96分・V) 出演＝中島ひろ子、つみきみほ、白島靖代

Tプログラム

社会派ミステリーや権力者の不正、冤罪問題など、名匠たちが丹精こめて作り上げた力作を紹介。

真昼の暗黒 (1956年・今井正・現代ぷろ・124分・SD) 出演＝草薙幸二郎、松山照夫、左幸子

張込み (1958年・野村芳太郎・松竹・116分・CS) 出演＝大木実、宮口精二、高峰秀子、田村高広

悪い奴ほどよく眠る (1960年・黒澤明・東宝＝黒沢プロ・151分・CS) 出演＝三船敏郎、森雅之、香川京子

飢餓海峡 (1965年・内田吐夢・東映・183分・CS) 出演＝三国連太郎、左幸子、伴淳三郎

Uプログラム (お子様連れにも好評のプログラム)

時代を超えて読み継がれる児童文学の名作や人気漫画を、豊かな情感と奔放な想像力で映画化した4作品を紹介。

次郎物語 (1987年・森川時久・西友＝学習研究社＝キネマ東京・110分・V) 出演＝加藤剛、高橋恵子、伊勢将人、樋口剛嗣

風の又三郎 ガラスのマント (1989年・伊藤俊也・朝日新聞社＝東急エージェンシー＝日本ヘラルド映画・107分・V*) 出演＝早勢美里、小林悠、草刈正雄

少年時代 (1990年・篠田正浩・「少年時代」製作委員会・117分・V) 出演＝岩下志麻、細川俊之、藤田哲也

お引越し (1993年・相米慎二・読売テレビ放送・124分・EV) 出演＝田畑智子、中井貴一、桜田淳子

Vプログラム (お子様連れにも好評のプログラム)

今や日本文化の顔となったアニメーション映画。日本アニメの歴史を画した劇場用長篇映画の代表作を紹介。

西遊記 (1960年・藪下泰司、手塚治虫、白川大作・東映動画・88分・CS) 声の出演＝小宮山清、新道乃里子、木下秀雄

太陽の王子 ホルスの大冒険 (1968年・高畑勲・東映動画・82分・CS) 声の出演＝大方斐紗子、平幹二郎、市原悦子

長靴をはいた猫 (1969年・矢吹公郎・東映動画・80分・CS) 声の出演＝石川進、藤田淑子、榊原ルミ

銀河鉄道の夜 (1985年・杉井ギサブロー・朝日新聞社＝テレビ朝日＝日本ヘラルド映画グループ・107分・V*) 声の出演＝田中真弓、坂本千夏、常田富士男

＜フィルム の 映写 と 取扱い に関する 主催者 への お願い＞

●添付書類について

- ①フィルム巡回リスト・見本 ……巡回プリントに同封。上映日に記入。
- ②フィルム取扱い注意事項 →事前に映写技師へ渡し、フィルムに手を触れる前に確認・署名していただく。
- ③上映報告書・見本(表)／④事故報告書・見本(裏) ……巡回プリントに同封。上映日に記入。

①～④の書類は、映写技師に記入していただくものです。添付書類②のみ、映写業者が決定した段階で映写技師の方へお渡しください。
②以外の書類は巡回プリントに同封してあります。①～④はプリントと一緒に返送してください。

主催者の方につきましても下記注意事項をお読みいただくとともに、上映後に①～④の用紙に記入漏れがないかどうかご確認いただけますようお願いいたします。

※近年、映写事故によるフィルムのダメージが目立ちます。貴重なフィルムを多くの方に鑑賞していただくために、映写技師の方にはよりいっそうフィルムの取扱いに注意していただき、また主催者の方におきましても映写技師の方と情報共有をしていただきながら、**未然に防げるトラブルは回避していただけますようご協力お願い申し上げます。**

●使用する映写機の状態を確認してください。

①メンテナンス状況

定期的(年一度を目処)にメンテナンスされた映写機を使用してください。使用する映写機が常設のものであれば、施設の担当者にご確認いただき、映写技師と情報共有してください。

②作品に適した映写機材、調整

下記作品に該当する場合、使用する映写機装置の確認をしてください。

Kプロ『眠狂四郎殺法帖』

カラー作品で、サウンドトラックが可変濃淡型です。カラーの濃淡型は、多くはエキサイターランプを使用したほうがレッドLEDに比べ音の再現性が高くなりますので、可能な場合はエキサイターランプを使用してください。今プログラムに提供しているプリントは再生に影響を及ぼす褪色等の濃度不良もなく、レッドLEDでの再生に問題がないことを確認しておりますが、読み取り部(Aチェーン)の調整不足によって、再生に支障をきたす場合がありますので注意してください。

Fプロ『豚と軍艦』

プリントがトリアセート(TAC)ベースです。切れやすいため、映写機の送り出しや巻き取りのテンション(ブレーキ)に注意してください。
小さなコアは負荷がかかり切断しやすいので使用しないでください。

Gプロ『ニンゲン合格』(DOL-SR)
Hプロ『Shall we ダンス?』『がんばっていきまっしょい』(DOL-SR)『キツツキと雨』『死に花』(DOL-D)
Iプロ『愛を乞うひと』『GO』『ゆるる』(DOL-SR)
Uプロ『風の又三郎 ガラスのマント』(DOL-ST)
Vプロ『銀河鉄道の夜』(DOL-ST)

ドルビーサウンドのプリントで、DOL-ST(ドルビーステレオ／ドルビーAタイプ)、DOL-SR(ドルビーSR)、DOL-D(ドルビーデジタル／SRD)の3種類あります。DOL-Dは、DOL-SRでも再生可能です。
***『キツツキと雨』のSRはシアンダイトラック(レッドLEDランプで再生)。**



アナログステレオ(DOL-ST)

複数の音がミックスされているシーンで2本のモジュレーションが違う波形の箇所があれば、ステレオと判断できる。



デジタル(SRD)

パーフォーレーションの間に、5.1チャンネルのデジタル音声信号を焼きつけている。

●トラブルのない上映を遂行するためには、映写機とフィルムの事前チェックが重要です。

①フィルムの状態

巡回上映のため、フィルムの状態が悪い場合もあります。早めに確認をし、必要な補修を行なえるよう予定をたててください。

②映写機と音響機器

今プログラム作品においては、調整された映写機での映写、音の再生には問題ないことを確認しています。
ランプの光量や、アンプ・スピーカーも含めた音響機器の不具合も上映に影響しますので、映写技師や施設担当者へご確認ください。**上映会場で事前に上映チェックを行うことを推奨します。**

●上映後の確認をお願いします。

上映後、映写技師にフィルムの走行など問題がなかったかどうか、確認をしてください。事故があった場合、早急にOMCへご報告ください。また映写技師に**事故報告書**をご記入いただき、報告書を早急に国立映画アーカイブ相模原分館へ、FAXでお送りください。

＜映写事故があった場合の連絡経路＞



※事故の状況が分からなかった場合、国立映画アーカイブから映写技師へ直接連絡する場合があります

●国立映画アーカイブ相模原分館

電話: 042-758-0128 FAX: 042-757-4449(火～金曜日) 担当: 小川・猪股

●OMC(令和4年度委託業者) ※令和5年度については未定

電話: 03-5362-0120(月～金曜日) 担当: 朱雀・内野

プリント報告書

①フィルム巡回先リスト

＜映写技師の方へ＞必ずご記入ください

作品名：**赤穂浪士**

巡回会場

[illegible]

●映写状況を確認するために、国立映画アーカイブまたは委託業者より映写技師へ直接ご連絡させていただく場合もございますので、ご了承ください。

●用紙①②③をフィルムコンテナの中に一緒に入れてください。

①は1枚のみ(各自記入)。②③は上映会場につき1枚ずつ記入し、当クリアフォルダ(最後尾)に入れてご返送ください。

- ①:フィルム巡回先リスト
②:フィルム取扱い注意事項
③:上映報告書(裏面:④事故報告書)

<主催者の方へ> **フィルムを編集・試写する前に映写技師に確認、署名していただけるようお渡しください。**

②フィルム取扱い注意事項 作業前に必ずご確認ください。

会場名:

映写技師は、下記フィルム取扱い注意事項をお読みのうえ左欄のチェックボックスにチェックをし、最後に署名をお願いします。

チェック

☐

1. 下に該当する上映作品があるか確認し、必要な準備を行ってください。

Kプロ『眠狂四郎殺法帖』

カラー作品で、サウンドトラックが可変濃淡型です。カラーの濃淡型は、多くはエキサイターランプを使用したほうがレッドLEDに比べ音の再現性が高くなりますので、可能な場合はエキサイターランプを使用してください。今プログラムに提供しているプリントは再生に影響を及ぼす褪色等の濃度不良もなく、レッドLEDでの再生に問題がないことを確認しておりますが、読み取り部(Aチェーン)の調整不足によって、再生に支障をきたす場合がありますので注意してください。

Fプロ『豚と軍艦』

プリントがトリアセテート(TAC)ベースです。切れやすいため、映写機の送り出しや巻き取りのテンション(プレーキ)に注意してください。**小さなコアは負荷がかかり切斷しやすいので使用しないでください。**

Gプロ『ニンゲン合格』(DOL-SR)
Hプロ『Shall we ダンス?』『がんばっていきまっしょい』(DOL-SR)『キツツキと雨』『死に花』(DOL-D)
Iプロ『愛を乞うひと』『GO』『ゆるる』(DOL-SR)
Uプロ『風の又三郎 ガラスのmant』(DOL-ST)
Vプロ『銀河鉄道の夜』(DOL-ST)

ドルビーサウンドのプリントで、DOL-ST(ドルビーステレオ/ドルビーAタイプ)、DOL-SR(ドルビーSR)、DOL-D(ドルビーデジタル/SRD)の3種類あります。DOL-Dは、DOL-SRでも再生可能です。***『キツツキと雨』のSRはシアンダイトラック(レッドLEDランプで再生)。**



アナログステレオ(DOL-ST)

複数の音がミックスされているシーンで2本のモジュレーションが違う波形の箇所があれば、ステレオと判断できる。



デジタル(SRD)

パーフォーレーションの間に、5.1チャンネルのデジタル音声信号を焼きつけている。

チェック

☐

2. 上映前プリントの確認

プリントの状態(スプライシング部など)は、上映前に確認してください。巡回上映のため、フレームがずれていたり、テープの処理が悪い可能性があります。

☐

新たなワキシング(油)は塗布しないでください。今プログラムのプリントには必要ありません。

☐

1リールにつなぐ際はテープを剥がしてつないでください。新たなスプライスを入れないでください。

☐

画面を1コマも落とさないでください。止むを得ずカットしたコマは、事故報告書(上映報告書裏)に理由を記載し、カットしたコマを貼り付けて返却してください。

☐

フィルム表面には傷や汚れをつけないように十分注意をしてください。やむを得ず印をつける際は、穴あけパンチや鉄筆は使用せず、ベース面にダーマトグラフで記入してください。

<フィルムに使用できるもの>

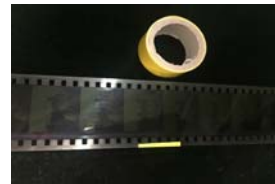
- 仮止め用紙テープ(粘着力の弱いテープ)
- ダーマトグラフ(ベース面のみ可)
- △ 養生テープ(なるべく使用しない)
- △ ビニールテープ(なるべく使用しない)

<フィルムに使用してはいけないもの>

- × ポスターカラー(白マーカーなど)
- × 鉄筆(フィルム面を削る)
- × 穴あけパンチ
- × セロテープ



ダーマトグラフ。ベース面のみ使用可。



マークが見づらいとき、ダーマトグラフの他に、黄色テープを利用する方法もあります。

チェック

☐

3. 映写機および周辺機材の確認

定期的(年一度を目処)にメンテナンスされた映写機を使用してください。リワインダー、プラッター等周辺機材も点検が必要です。使用映写機および周辺機材の前回メンテナンス年月を記入してください。

メンテナンス実施年月: 年 月

☐

Aチェーン(映写機サウンド部~プリアンプ)の調整がされているか確認してください。正常に読み取れないとノイズが起きたり、音量に影響があります。

☐

使用するプリアンプ~スピーカー(Bチェーン)の状態を確認してください。不具合があるとノイズが起きたり、音量に影響があります。

☐

油漏れを起こしている映写機は、フィルムに付着しないよう布を敷く、または映写直前に油を拭き取ってください。

チェック

☐

4. 上映後の作業

編集したフィルムを元に戻す際は、画面をカットしないでください。銀テープを使用した際も画面を傷つけることなく、きれいに剥がしてください。

☐

上映後は缶に同封している①巡回先リスト ②フィルム取扱い注意事項(当用紙) ③上映報告書 に記入・署名をお願いします。映写トラブルがあった場合、早急に主催者へ報告し、**FAXにて④事故報告書(上映報告書裏)**を国立映画アーカイブへ送ってください。

5. 上記確認、チェック後に署名をお願いします。(必須)

年 月 日

所属会社・団体名:

映写技師名:

不明な点がございましたら、下記へご連絡ください。

- 国立映画アーカイブ相模原分館
電話:042-758-0128 FAX:042-757-4449(火~金曜日)担当:小川・猪股
- OMC(令和4年度委託業者)※令和5年度については未定
電話:03-5362-0120(月~金曜日)担当:朱雀・内野

ご記入後、フィルムコンテナ同封の用紙③と一緒にご返却ください。

③上映報告書(優秀映画鑑賞推進事業用)

プログラム【0】

赤穂浪士

作 品 名:

[映写方法]

●1リール映写:
(編集)

有 . 無

※有の場合、上映後にリーダーを正確に接続してください。
また、新たに画面をカットしないようくれぐれもご注意ください。

[全体の印象] 気づいた点をお知らせください

[画] 傷、汚れ、コマ落ちなど	[音] ノイズなど
-----------------	-----------

見本

[フィルムの状態・走行]

第1巻	第2巻	第3巻	第4巻	第5巻	第6巻	第7巻	第8巻	第9巻	第10巻	第11巻	第12巻
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------

※この用紙はフィルムコンテナの1缶(巻)目に同封しています。
映写技師様にご記入いただくようお願いください。

[備 考]

※フィルムの状態が悪い箇所、状態などお知らせください。フィルムの切断や傷が入ってしまった場合は裏面の「事故報告書」に状況を記入してください。また切断したフィルムは裏面の事故報告書に貼付して返却してください。

[映写環境]

映写機: 常設 ・ 仮設 ※どちらかに○をつけてください

映写機メーカー名/型番: ランプW数:

前回メンテナンス日: 年 月

サウンドリーダー: エキサイターランプ ・ LED (フォワードスキャン式 ・ リバーススキャン式)
※どちらかに○をつけてください

サウンドプリアンプ: CP50・CP55・CP65・CP500・CP650・その他プリアンプ()
(プロセッサー) ※○をつけてください

上映日時: 年 月 日 時 開始
年 月 日 時 開始 計 回上映

会 場 名:

映写技師名: 所属:

●上映後は必ず巻き戻し、巻頭をテープで留め、袋に入れて所定の缶に戻してください。

④事故報告書

プログラム【0】

●映写技師連絡先

赤穂浪士

*電話:

●損傷箇所

*巻数:

*箇所:

(例)前半

●フィルムの状態

見本

●事故の原因 ※なるべく具体的に

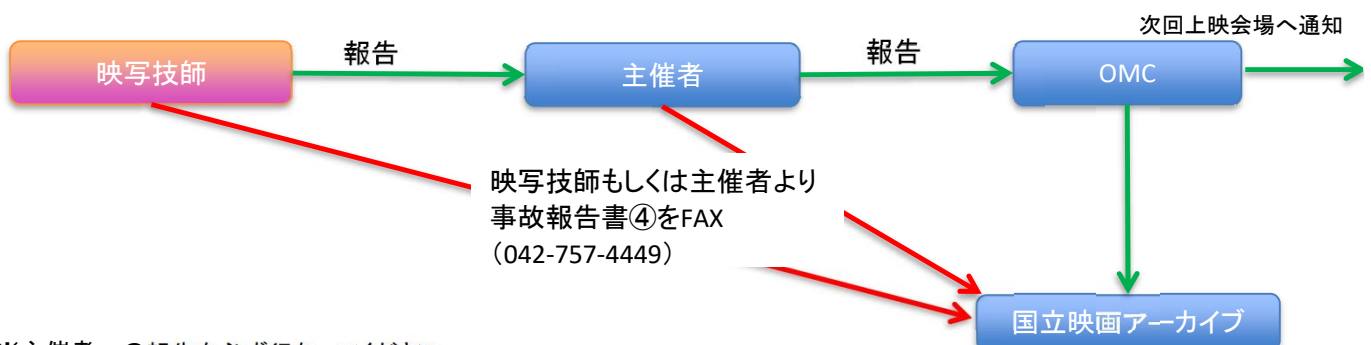
※この用紙はフィルムコンテナの1缶(巻)目に同封しています。

映写技師様にご記入いただくようお願いください。

●今後の対策 ※なるべく具体的に

●事故の状況を図や写真で詳しく説明してください。スペースが足りない場合は別紙でも構いません。切断したフィルムは空いているスペースに貼ってください。

＜映写事故があった場合の連絡経路＞



※主催者への報告を必ず行なってください。

※事故の状況が分からなかった場合、国立映画アーカイブから映写技師へ直接連絡する場合があります。

●国立映画アーカイブ相模原分館

電話:042-758-0128 FAX:042-757-4449(火～金曜日)担当:小川・猪股

●OMC(令和4年度委託業者)※令和5年度については未定

電話:03-5362-0120(月～金曜日)担当:朱雀・内野

添付資料 5

組 合 名	代表者／事務局長名	住 所
北海道興行生活衛生同業組合	理事長 河原 功	060-0063 札幌市中央区南3条西3-15 アルファ南3条ビル5階
	事務局長 伊藤 彰	TEL 011-231-6361 FAX 011-218-2521
青森県興行生活衛生同業組合	理事長 谷田恵一	030-0803 青森市安方2-12-14 パークハイツ安方702
	事務局長 稲田吉子	TEL 017-721-3641 FAX 017-721-3642
岩手県興行生活衛生同業組合	理事長 小暮信人	020-0024 盛岡市菜園2-2-2 ルミエールビル
	事務局長 中西栄三	TEL 019-653-5957 FAX 019-622-4276
生活衛生同業組合宮城県映画協会	理事長 加藤慶藏	980-0811 仙台市青葉区一番町2-5-5 一番町中央ビル
	事務局長	TEL 022-263-0716 FAX 022-263-0716
秋田県興行生活衛生同業組合	理事長 稲田 仁	010-1604 秋田市新屋松美町4-14
	事務局長 鈴木昭政	TEL 090-2954-3646 FAX 018-863-3108
山形県興行生活衛生同業組合	理事長 吉村和文	990-0885 山形市嶋北1-2-2 (株)ムービーオン山形内
	事務局長 藤木英司	TEL 023-682-7224 FAX 023-682-7223
福島県興行生活衛生同業組合	理事長 阿部泰宏	960-8051 福島市曾根田町6-4 福島フォーラム内
	事務局長	TEL 024-533-1717 FAX 024-533-2025
茨城県興行生活衛生同業組合	理事長 寺内龍地	300-0033 土浦市川口1-11-15 土浦セントラルシネマズ内
	事務局長	TEL 029-821-1554 FAX 029-823-1170
栃木県興行生活衛生同業組合	理事長 三井勝茂	320-0802 宇都宮市江野町7-13 プラザヒカビル内
	事務局長 三井覚	TEL 028-634-3769 FAX 028-634-1414
群馬県興行生活衛生同業組合	理事長 高橋周太郎	379-2224 伊勢崎市西小保方町368 SMARK伊勢崎3F MOVIX伊勢崎内
	事務局長	TEL 050-6865-3212 FAX
生活衛生同業組合埼玉県映画協会	理事長 長谷川隆春	330-0063 さいたま市浦和区高砂町4-4-17 埼玉県食環センタービル内
	事務局長 櫻井弘幸	TEL 048-865-1078 FAX 048-865-1078
千葉県興行生活衛生同業組合	理事長 臼井正人	260-0013 千葉市中央区中央3-8-8 中央CIB8F 千葉興行(株)内
	事務局長 白根祥子	TEL 043-222-4265 FAX 043-224-2667
東京都興行生活衛生同業組合	理事長 菅野信三	105-0004 港区新橋6-8-2 全国生衛会館6F
	事務局長 野口 彰	TEL 03-5408-5446 FAX
神奈川県興行生活衛生同業組合	理事長 大矢 浩	231-0005 横浜市中区本町3-24-1 本町中央ビル203
	事務局長 内嶋一雄	TEL 045-664-3252 FAX 045-664-3253
山梨県興行生活衛生同業組合	理事長 小野 樹	400-0032 甲府市中央1-5-12 シアターセントラルBe館内
	事務局長 鈴木 俊太郎	TEL 055-233-3023 FAX 055-235-2270
長野県興行生活衛生同業組合	理事長 松下秀正	394-0027 岡谷市中央町2-4-14 岡谷スカラ座内
	事務局長	TEL 0266-22-2773 FAX 0266-22-6961
新潟県興行生活衛生同業組合	理事長 金子林生	943-0173 新潟県上越市富岡3524 金子興業(株)内
	事務局長 金子真人	TEL 025-522-5391 FAX 025-525-2155
生活衛生同業組合静岡県映画興行協会	理事長 森岡映二	420-0032 静岡市葵区両替町2-4-9 フィエスタ両替町6F
	事務局長 御園年秀	TEL 054-253-2525 FAX 054-253-2537
生活衛生同業組合愛知県興行協会	理事長 服部 徹	460-0003 名古屋市中区錦三丁目6-34 太陽生命名古屋ビル11F
	事務局長 西川 淳	TEL 052-253-9475 FAX 052-253-9476
生活衛生同業組合岐阜県映画協会	理事長 篠田元弘	500-8876 岐阜市日ノ出町1-20 ロイヤルプラザ・岐阜土地興業(株)内
	事務局長 磯谷貴彦	TEL 058-264-0161 FAX 058-266-5048
三重県興行生活衛生同業組合	理事長 水野昌光	514-0027 津市大門32-3 津東宝内
	事務局長 久保康	TEL 059-228-3523 FAX 059-225-7064
富山県興行生活衛生同業組合	理事長 金子憲頭	930-0083 富山市総曲輪3丁目9-1
	事務局長	TEL 076-461-5386 FAX 076-461-5398
石川県興行生活衛生同業組合	理事長 藤岡紫浪	920-0851 金沢市笠市町16-10 レジデンス此花202
	事務局長 今里麻子	TEL 076-231-1838 FAX 076-231-1836
福井県興行生活衛生同業組合	理事長 伊井 彌州雄	910-0006 福井市中央1-17-12(有)伊井興業内
	事務局長 明石 均	TEL 0776-21-1511 FAX 0776-24-0154

組 合 名	代表者／事務局長名	住 所
生活衛生同業組合滋賀県興行協会	理事長 松本智	522-0052 彦根市長曾根南町443 高木ビル4F
	事務局長 谷本義広	TEL 0749-49-2400 FAX 077-521-5440
生活衛生同業組合京都興行協会	理事長 中西三郎	605-0073 京都市東山区祇園町北側323 (株)祇園会館内
	事務局長 守田晴美	TEL 075-533-3010 FAX 075-533-3011
生活衛生同業組合大阪興行協会	理事長 田中耕造	545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-1 あべのルシナス2F 214号
	事務局長 山田伸一	TEL 06-6632-3811 FAX 06-6632-3812
生活衛生同業組合兵庫県興行協会	理事長 吉岡一博	670-0972 姫路市駅前町27 テラッソ姫路 (株)アースシネマズ内
	事務局長 浅野 香	TEL 079-287-8810 FAX 079-287-8811
奈良県興行生活衛生同業組合	理事長 宮崎昌明	630-8123 奈良市三条大宮町1-12 (財)奈良県生活衛生営業指導センター内
	事務局長 岡本輝昭	TEL 0745-52-3035 FAX 0745-52-4116
和歌山県興行生活衛生同業組合	理事長 大槻 尚宏	640-8421 和歌山県和歌山市松江向鶴ノ島1469-1 ジストシネマ和歌山内
	事務局長 池上 浩行	TEL 073-480-4777 FAX 073-480-5805
岡山県興行生活衛生同業組合	理事長 福武義修	700-0023 岡山市北区駅前町1-6-1 福武観光株式会社内
	事務局長 伊東貴志	TEL 086-223-3001 FAX 086-223-8847
広島県興行生活衛生同業組合	理事長 藤本勇次	730-0856 広島市中区河原町1-26 広島県環衛ビル7F
	事務局長 畠山千万	TEL 082-293-9919 FAX 082-296-1898
山口県興行生活衛生同業組合	理事長 森本文矢	745-0032 周南市銀座1-12 セマディオビル6F 毎日興業(株)内
	事務局長	TEL 0834-21-2525 FAX 0834-21-3283
鳥取県興行生活衛生同業組合	理事長 中村俊一郎	680-0831 鳥取市栄町606 まるもビル3F鳥取シネマ内
	事務局長	TEL 0857-24-0916 FAX 0857-39-3531
島根県興行生活衛生同業組合	理事長 宮崎晴雄	690-0001 松江市東朝日町151 松江東宝5内
	事務局長	TEL 0852-28-2100 FAX 0852-28-2101
香川県興行生活衛生同業組合	理事長 石田昭宏	760-0054 高松市常盤町1-4-6 ロッポニカ高松内
	事務局長 山本修三	TEL 087-834-7127 FAX 087-861-9665
徳島県興行協会	理事長	771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字西ノ須174 北島シネマサンシャイン内
	事務局長	TEL 088-697-3111 FAX 088-697-3112
愛媛県興行生活衛生同業組合	理事長 佐々木淳	790-0004 松山市大街道1-5-10松山第2佐々木ビル7F
	事務局長 羽生 洋雄	TEL 089-933-6677 FAX 089-933-6646
高知県興行生活衛生同業組合	理事長 梶原徹也	780-0026 高知市秦南町1-4-8イオン高知SC3F
	事務局長	TEL 088-826-7267 FAX 088-826-7268
福岡県興行生活衛生同業組合	理事長 岡部章蔵	810-0001 福岡市中央区天神4-7-11 クレアビル3F
	事務局長 中村玲子	TEL 092-736-1248 FAX 092-736-1247
佐賀県興行生活衛生同業組合	理事長 芳賀英行	840-0831 佐賀市松原2-14-16 セントラルプラザビル3Fシエマ内
	事務局長 (重松恵梨子)	TEL 0952-27-5116 FAX 0952-27-5116
長崎県興行生活衛生同業組合	理事長 牛島義亮	857-0879 佐世保市島地町1-17 佐世保太陽企業グループ内
	事務局長 吉田正子	TEL 0956-25-7774 FAX 0956-25-4877
熊本県興行生活衛生同業組合	理事長 窪寺洋一	860-0803 熊本市新市街8-2電気館ビル6F DENKIKAN内
	事務局長 笠れい子	TEL 096-319-3567 FAX 096-319-3567
大分県興行生活衛生同業組合	理事長 田井肇	870-0021 大分市府内町3-7-7 セントラルプラザ5F
	事務局長	TEL 097-532-3218 FAX 097-532-3218
生活衛生同業組合宮崎県興行協会	理事長 力武嘉寿子	880-0007 宮崎市原町6-3 オフィスビルサンマリノ301 セントラル観光(株)内
	事務局長 黒木めぐみ	TEL 0985-78-6270 FAX 0985-78-6275
鹿児島県興行生活衛生同業組合	理事長 安田 豊	892-0843 鹿児島市千日町5-6 鹿児島シネシティ文化内
	事務局長	TEL 099-223-3644 FAX 099-224-9304
沖縄県映画興行協会	理事長	900-0015 那覇市久茂地3-21-2 ザ・テラスホテルズコクワ流通サービスカンパニー
	事務局長	TEL 098-866-1255 FAX 098-868-1666

令和4年10月現在

「優秀映画鑑賞推進事業」広報媒体等への主催者名・特別協力名・国立映画アーカイブロゴの記載について【留意事項】

「優秀映画鑑賞推進事業」において、以下の点に留意し、広報媒体等への主催者名・特別協力名・国立映画アーカイブのロゴの記載をお願いいたします。

《◎掲載媒体について》

1. チラシ、ポスター
2. 会場パネル等
3. ウェブサイト

《◎ロゴの記載位置・大きさについて》

▼ロゴについて【細かいサイズの指定はありません。】

1. チラシ・ポスター等表面に、デザイン上の支障が無い範囲で最大限の記載をすること。
2. ウェブサイトについては、適宜の場所に支障が無い範囲で最大限の記載をすること。

【※恒常的にロゴが出ているのが望ましい。】

▼特別協力名について

1. 主催者等の記載に準じて記載

※優秀映画鑑賞推進事業と、それ以外のイベント等を同時に開催する場合は、**それぞれの主催者等が明確に分かるようにご記載ください。**

(記載イメージ)

〇〇〇〇映画祭・上映会
日 程：〇〇〇〇
観覧料金等：〇〇〇〇

主催者 〇〇〇〇/**国立映画アーカイブ**
特別協力 〇〇〇〇/**文化庁/一般社団法人日本映画製作者連盟/
全国興行生活衛生同業組合連合会/東映株式会社/東宝株式会社**

NFAJ ロゴ

《◎問い合わせ先について》

●株式会社 オーエムシー (令和5年度については未定)

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-34-1 新宿御苑前アネックスビル8階

電話：03-5362-0120(フロアイン)

●国立映画アーカイブ 総務課 事業担当

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6

電話：03-3561-0823

優秀映画鑑賞推進事業実行委員会規約

第1条 本会は、〇〇市（町・村）優秀映画鑑賞推進事業実行委員会（以下「委員会」という。）と
いう。

第2条 委員会は、事務所を〇〇市（町・村）〇〇文化会館内に置く。

第3条 委員会は、国立映画アーカイブと協力し、広く市（町・村）民に優れた映画の鑑賞機会を提供し、〇〇市（町・村）の芸術文化の向上発展を図ることを目的とする。

第4条 委員会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 優秀映画鑑賞推進事業
- (2) その他目的達成に必要な事業

第5条 委員会の委員は、会場となる公立文化施設等の長、及び当該地域の主催者、教育委員会、関係団体、新聞社、放送局等の代表者等で構成する。

2 委員会は、委員〇〇名以内で構成し、互選で委員長、監査委員を定める。

3 委員長は、委員会を代表し、委員会の事務を統括する。

第6条 この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議決を経て委員長が別に定める。

第7条 委員会は、報告書の提出をもって解散する。

委員名簿

[illegible]

(様式2)

令和 年 月 日

独立行政法人国立美術館
国立映画アーカイブ 館長 殿

公立文化施設等長
氏 名

⑨

優秀映画鑑賞推進事業実施確約書

令和5年度優秀映画鑑賞推進事業の実施にあたって、下記映画フィルムを別に定める「優秀映画鑑賞推進事業遵守事項」にしたがって、責任を持って管理・上映することを確約します。

記

1 プログラム名 (A～V) _____ プログラム

2 映画フィルム作品名等

作品名	上映の回数 (↓○で囲む)
	0回・1回・2回
	0回・1回・2回
	0回・1回・2回
	0回・1回・2回

3 預り (管理) 期間 (搬入日～搬出日) : 令和 年 月 日から令和 年 月 日迄

4 上映実施の日時 : 令和 年 月 日 時 分から 時 分まで
令和 年 月 日 時 分から 時 分まで
令和 年 月 日 時 分から 時 分まで
令和 年 月 日 時 分から 時 分まで

5 実施会場名 : _____
(都道府県 : _____ 市町村 : _____)

6 担当者名 : _____ (実施希望回答時から変更があれば以下も記入)
勤務先 TEL : _____ 勤務先 FAX : _____
メールアドレス : _____

(様式2)

令和 年 月 日

独立行政法人国立美術館
国立映画アーカイブ 館長 殿

公立文化施設等長

氏 名

印

優秀映画鑑賞推進事業実施確約書（デジタル素材上映用）

令和5年度優秀映画鑑賞推進事業の実施にあたって、下記映画作品のデジタル素材を別に定める「優秀映画鑑賞推進事業遵守事項」にしたがって、責任を持って管理・上映することを確約します。

記

1 プログラム名（BまたはL） _____ プログラム デジタル素材（DCP）

2 各作品の上映の有無

作品名	上映回数 (↓○で囲む)
	0回・1回
	0回・1回
	0回・1回
	0回・1回

3 ①預り（管理）期間（搬入日～搬出日）：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

②インGESTしたデジタル素材のデータ削除（消去）日時

：令和 年 月 日 時 分まで

4 上映実施の日時：令和 年 月 日 時 分から 時 分まで

令和 年 月 日 時 分から 時 分まで

令和 年 月 日 時 分から 時 分まで

令和 年 月 日 時 分から 時 分まで

5 実施会場名： _____

(都道府県： _____ 市町村： _____)

6 担当者名： _____ (実施希望回答時から変更があれば以下も記入)

勤務先 TEL： _____ 勤務先 FAX： _____

メールアドレス： _____

優秀映画鑑賞推進事業遵守事項

- 1 国立映画アーカイブから提供された優秀映画鑑賞推進事業用映画フィルム、デジタル素材及びスチル写真のデータ（以下「映画フィルム等」という。）は、善良な管理者の注意を持って管理し、その効率的使用に努めること。
- 2 映画フィルム等は、転貸し、又は担保に供しないこと。
- 3 映画フィルム等は、複製しないこと。
- 4 会場（映写室及び検品等の作業のための場所を含む。）での上映中の写真・ビデオ撮影及び録音は、禁止すること。
- 5 映画フィルム等は、本事業以外には使用しないこと。また、インジェストしたデジタル素材及びスチル写真のデータは使用後に破棄すること。
- 6 映画フィルム等の権利者又は第三者からの異議申し立て等が生じた場合は、実施会場の責任で解決すること。
- 7 映画フィルムについて、修繕・改造その他映画フィルムの現状を変更する必要がある場合は、あらかじめ本事業委託業者を通じて国立映画アーカイブの承諾を受けること。
- 8 映画フィルム及びデジタル素材を紛失し、又は損傷したときは、直ちに詳細な報告書を、本事業委託業者を通じて国立映画アーカイブに提出し、その指示に従うこと。
- 9 映画フィルムの取扱いについては、国立映画アーカイブが作成した「フィルム取扱い注意事項」等に従うこと。なお、映写等のために実際に映画フィルムに手を触れる者にも、事前にフィルム取扱い注意事項を確認させ、特に留意させること。
- 10 その他、この遵守事項に定めのない事項については、その都度本事業委託業者を通じて国立映画アーカイブと協議すること。

(様式3)

年 月 日

独立行政法人国立美術館
国立映画アーカイブ館長 殿

公立文化施設等長

氏 名 _____ 印

映画フィルム転送通知書

このことについて、下記映画フィルムを転送しましたので、通知します。

記

- 1 実施会場名： _____
連絡先 (tel)： _____
(都道府県： _____ 市町村： _____)

- 2 プログラム名 (A～V) _____ プログラム

- 3 映画フィルム作品名等

作品名	作品の巻数
	巻
	巻
	巻
	巻
計	巻

- 4 転送日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

- 5 転送先 (会場名)： _____

- 6 フィルムの破損など連絡事項： _____

(様式4)

令和 年 月 日

独立行政法人国立美術館
国立映画アーカイブ館長 殿

公立文化施設等長
氏 名

印

令和5年度優秀映画鑑賞推進事業実施報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

記

1 概要

(1) 実施会場名 : _____

都道府県 _____ 市町村 _____

(2) 実施プログラム名 : _____ プログラム

(3) 実施期間 : 令和 年 月 日 () ~ 月 日 ()

合計 _____ 日間

(4) 担当者名 : _____

連絡先TEL : _____

メールアドレス : _____

(5) 当事業の実施回数 : 合計 _____ 回 (本年度を含む)

(6) 入場者数 :

上映作品名	上映回数(回)	入場者数(人)	1回平均 入場者数(人)
1			
2			
3			
4			
全作品計	上映回数合計	入場者数合計	1回平均入場者数

2 事業記録

(1) 入場者数

(注) 入場者数の記載にあたっては、1回の上映ごとに入替制を行ったものとみなして入場者数を算出するものとする。

上映作品名	上映日	上映時間	入場者数(人)
1	月 日	時 分 ～ 時 分	
	月 日	時 分 ～ 時 分	
		小計	
		1 回平均	
2	月 日	時 分 ～ 時 分	
	月 日	時 分 ～ 時 分	
		小計	
		1 回平均	
3	月 日	時 分 ～ 時 分	
	月 日	時 分 ～ 時 分	
		小計	
		1 回平均	
4	月 日	時 分 ～ 時 分	
	月 日	時 分 ～ 時 分	
		小計	
		1 回平均	
計	上映日数合計	延べ上映回数	1回平均入場者数
	日	回	人

(2) 収支決算

収 入		支 出	
事 項	金 額	事 項	金 額
①事業費	円	①広報紙印刷費	円
②観覧料		②観覧券印刷費	
③補助金		③会場使用料	
④その他		④会場設営費（映写機借上代含）	
		⑤映写技師経費	
		⑥会場整理要員費	
		⑦実行委員会に要した経費	
		⑧その他	
計		計	

(3) アンケートの集計 ※実施日が数日ある場合、まとめたデータを記入してください

	総入場者数	名	提出数	名	回答率	%		
1	①性別	男性	名	女性	名	その他	名	
		回答しない	名	無回答	名			
	②年齢	9歳以下	名	10代	名	20代	名	
30代	名	40代	名	50代	名	60代	名	
		70歳以上	名	回答しない	名	無回答	名	
	③住所	会場のある地域	名	近隣の地域	名	その他	名	
		無回答	名					
2	どなたとご鑑賞							
	一人	名	友人・知人	名	家族	名	その他	名
	無回答	名						
3	情報入手方法							
	広報誌	名	ポスター・チラシ	名				
	知人・口コミ	名	その他（具体的に）					
	無回答	名						
4	優秀映画鑑賞回数							
	初めて（1回目）	名	2回目	名	3～5回目	名		
	6～10回	名	それ以上	名	無回答	名		
5	1年間の映画鑑賞回数							
	①【映画館やホール】							
	0本	名	1～2本	名	3～5本	名		
	6～10本	名	それ以上	名	無回答	名		
	②【ビデオやDVD】							
	0本	名	1～2本	名	3～5本	名		
	6～10本	名	それ以上	名	無回答	名		
	③【テレビ】							
	0本	名	1～2本	名	3～5本	名		
	6～10本	名	それ以上	名	無回答	名		
	④【インターネット（動画配信などを含む）】							
	0本	名	1～2本	名	3～5本	名		
	6～10本	名	それ以上	名	無回答	名		
6	感想							
	全体としてよかった	名	全体としてよくなかった	名				
	どちらとも言えない	名	無回答	名				
7	添付資料							
	※ポスター、チラシ、入場券、その他事業を実施する上で作製された印刷物等を添付してください。							
8	意見・感想等							
	※別紙作成							
	※実施担当者の意見・感想等のほか、2(3)で集計したアンケートの主な意見・感想（設問8）等も記載して下さい。							
9	本事業の今後の参考とするため、①実施会場における、年間の映画上映回数と種類（自主事業及び施設利用、貸館事業含む）、②実施会場を利用している名画鑑賞会等の映画上映活動が地域にあればその名称、③上記①のデジタル上映時に使用されたメディア（該当するものに○）、を記載して下さい。							
①	【自主事業】フィルム	回／デジタル	回	【貸館事業】フィルム	回／デジタル	回		
②	名画鑑賞会名							
	*該当するものに○をしてください。							
③	デジタル上映時の使用メディア（DCP／Blu-ray／DVD／他）							

映画をご覧になられた方へのアンケート

本日はご来場を頂きありがとうございます。アンケートへのご協力をお願いいたします。

□ には印を付けて、() には記入をしてお答えください。

月 日

1 あなたの性別・年齢・住所について教えてください。

- ①性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他 ☐ 回答しない
②年齢 ☐ 9歳以下 ☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代
☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70歳以上 ☐ 回答しない
③住所 ☐ 会場のある地域 ☐ 近隣の地域 ☐ その他 ()

2 本日はどなたと一緒にお越しになりましたか。(複数選択可)

- ☐ 一人で ☐ 友人・知人と ☐ 家族と ☐ その他 ()

3 この優秀映画鑑賞推進事業をどのようにしてお知りになりましたか。(複数選択可)

- ☐ 市町村や実施会場の広報誌で ☐ ポスターやチラシで ☐ 知り合いから
☐ その他 ()

4 優秀映画鑑賞推進事業で映画をご覧になるのは何回目ですか。

- ☐ 1回目(今回初めて) ☐ 2～5回目 ☐ 6～10回目 ☐ それ以上

5 1年間に映画をどのくらいご覧になりますか。①～④にお答えください。

- ① 映画館やホールなどで、1年間に映画を何本くらいご覧になりますか。
☐ 0本 ☐ 1～2本 ☐ 3～5本 ☐ 6～10本 ☐ それ以上
- ② ビデオやDVDで、1年間に映画を何本くらいご覧になりますか。
☐ 0本 ☐ 1～2本 ☐ 3～5本 ☐ 6～10本 ☐ それ以上
- ③ テレビ(衛生放送やケーブルテレビなど)で、1年間に映画を何本くらいご覧になりますか。
☐ 0本 ☐ 1～2本 ☐ 3～5本 ☐ 6～10本 ☐ それ以上
- ④ インターネット(動画配信などを含む)で、1年間に映画を何本くらいご覧になりますか。
☐ 0本 ☐ 1～2本 ☐ 3～5本 ☐ 6～10本 ☐ それ以上

6 本日の映画鑑賞会について、ご感想をお聞かせください。

- ☐ 全体としてよかった ☐ 全体としてよくなかった ☐ どちらとも言えない

本日の映画鑑賞会について、ご自由にご感想をお書きください。

ご協力ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。